

少年

第453号(1) 令和5年12月(師走)発行



山梨県警察本部
生活安全部 少年・女性安全対策課
甲府市丸の内1-6-1
055-221-0110 内線3082
少年対策官 北原宏明

守・破・離

みなさんは「守・破・離」という言葉を耳にしたことがあるだろうか。この言葉は、剣道や茶道などで修行の段階を示したものである。「守」は、師匠や流派の教え、型、技を忠実に「守」り、確実に身につける段階。「破」は、他の師匠や流派の教えからも良いものを取り入れ、心技を発展させて自分の殻を「破」る段階。そして、「離」は、独自の新しいものを生み出し確立させ、一つの流派から「離」れる段階を意味している。この段階は、剣道や茶道などに限ったことではなく、人生におけるさまざまな活動にも当てはめることができる。



学習や仕事において、この段階を当てはめると「守」は、教わったことを確実に身につける、つまり基礎・基本となる知識や技能を定着させる段階。「破」は、さまざまな考えを比較し、身につけた知識や技能を用いて自分なりに妥当な考えを選択し判断する段階。そして、「離」は、既存の考えではない自分なりの考えを新たに生み出す段階ということになるであろうか。

「破」や「離」の段階に至るには、「守」が大切なのは言うまでもない。妥当な考えを選択するには、直感的に行うこともあるだろうが、根拠にもとづいて選択をすることになる。つまり、「守」で身につけた知識や技能がなければ根拠を見いだすことができず、妥当な考えを選択することは難しいのだ。ましてや新たに自分なりの考えを生み出すためには知識なしには到底できないであろう。

人は知らず知らずのうちにさまざまな考えを取捨選択して生きている。もちろん、人生を左右する大きな選択から些細な選択まで幅はあると思うが、毎日選択して生きている。より良い選択ができれば、それはより良い人生につながる。つまり、より良い人生を送るには、やはり「守」の段階である知識や技能をしっかりと身につけることが必要なのだ。

夢と希望と感動と平和を

2023年も残すところあと1か月を切った。皆さんにとって今年はどうな年であっただろうか。今年を振り返ってみると、ロシアのウクライナ侵攻は終結することなく続いており、多くの市民が犠牲となった。10月にはイスラエルとイスラム組織ハマスが軍事衝突し、今もなお、罪のない多くの命が奪われ続けている。改めて平和の大切さを痛感させられた1年となった。

日本と山梨県内では、例年以上にスポーツが盛り上がった年となった。野球では3月のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）では侍ジャパンが決勝でアメリカを破り優勝を果たし、第95回選抜高校野球大会（春の甲子園）では山梨学院高校が県勢で初優勝を果たした。また、バスケットボールでは、男子日本代表が48年ぶりに自力でオリンピックの出場権を獲得し、今夏開催されたインターハイでは日本航空高校が全国制覇を成し遂げた。改めてスポーツには大きな夢と希望と感動を与える力があることを思い知らされた。それらを県民に与えてくれた山梨学院高校と日本航空高校の活躍には心より感謝したい。



2024年はオリンピックイヤーである。フランスのパリでオリンピックが開催される。県内出身者では舟久保遙香選手（女子柔道）、文田健一郎選手（男子レスリング）の出場が決まっている。オリンピックは「平和の祭典」と言われており、紀元前の昔に行われていた古代オリンピックは、戦争を中断して開催された。近代オリンピックの考え方も、オリンピックによって平和な世界づくりに貢献することにある。オリンピックが開催される来年が世界中に大きな夢と希望と感動だけでなく、平和をもたらす年となることを願いたい。

2024年が皆さまにとって、そして世界にとってよい年となることを祈っております。よいお年をお迎え下さい。

〈参考文献：公益財団法人日本体育協会「体協フェアプレイニュース」2011年12月12日号〉

発行番号は昭和61年初号からの通算番号です。

http://www.pref.yamanashi.jp/police/p_syonen/shonenkoho.html

年末年始特別警戒取締りについて

令和5年12月15日(金)～令和6年1月5日(金)実施

県警察では、毎年、年末年始に防犯団体や地域の方々と協力して特別警戒取締りを実施し、凶悪事件をはじめとする犯罪被害防止対策及び少年非行の未然防止対策等に取り組んでいます。

子供の問題行動はもちろんのこと、子供に悪影響を与える環境、子供をねらった「声掛け」や「つきまとい」がある場合には、各警察署にご連絡下さい。最高の防犯対策は、「防犯カメラ」ではなく、「地域の目」であり「地域のつながり」です。「おはよう」「こんにちは」……一言の積み重ねが、大きな犯罪抑止力になります。ご協力をお願いいたします。



冬休み期間中の少年非行防止のために



まもなく冬休みになります。クリスマスやお正月といったイベントが続き、大人も子供も、何かと落ち着かない時期となります。

子供は解放感から気が緩み、様々な誘惑に流されてしまいがちです。日頃から、子供の行動に関心を持ち、親子の会話を心がけるのはもちろんのこと、地域でも声を掛け合いながら、子供が非行や犯罪に巻き込まれない環境づくりに努めていくことが必要です。

■家庭での指導■

- 家族と一緒に過ごす時間(家族団欒)を増やす
- 基本的な生活習慣を崩さないようにする
- 地域の伝統行事に参加させる
- 伝統行事の意味を教える
- 金銭教育をする(お年玉等)
- 携帯・スマホの使用についてルール決める

■学校での指導■

- 冬休みの事前・事後の指導体制を整える
- 必要に応じて、個別指導を行う
- 安全指導の徹底と交通事故等の未然防止
- 1年間の成長を確かめ、新しい年への夢や目標をもたせる
- 正しい判断と誘惑に負けない強い意志を持たせ非行防止に努める

■地域での指導■

- 地域防犯の意識を高く持ち、安心安全な町づくりのために、地域の目を育てる
- 子供が伸び伸びと活動できる場所と機会を設ける
- 地域に起こった小さな変化を見逃さず、関係機関との迅速な対応を心がける



ネット被害から子供を守るために

子供のスマートフォンの所有率は小学生が64.0%、中学生が91.1%、高校生が98.9%と高い割合を示しており、「個人情報の流出」「不適切な書き込み」「ネットいじめ」「誘い出しによる性的被害」「ネット依存症」など、子供を巻き込む、様々なネット被害が大きな社会問題となっています。便利だからといって、安易にスマホを買い与えるのではなく、持たせる前に、目の前の子供の実態や将来を考えながら、家族でじっくりと話し合ってください。

「家庭内でのルールづくり」と「フィルタリングの利用」を

- ① ネットの利便性だけでなく危険性についても、親子で十分に話し合う。
- ② 持たせる前に、親子で使い方(マナー、使用時間、内容など)についてのルールを親子で納得のいくよう十分に話し合ってから決める。
- ③ 18歳まではフィルタリングを利用し、危険なサイトへの接続を防ぐ。
- ④ 親子のコミュニケーションを大切に、子供の友人関係を把握するとともに、子供のSOSサインを見逃さない。

